

# SDGs達成に向けた取組み



分類	No.	チェック項目	具体的な取組み	分類	No.	チェック項目	具体的な取組み	
組織・公正な取引	1	【内部管理体制】 ・経営理念及び経営目標を社内で共有、実践している。	・企業理念と企業使命感は社内掲示し、毎朝朝礼で唱和している。 ・経営方針発表会等で経営目標を社員に説明し共有している。	環境	23	【エネルギー】 ・電力やガソリンなど、自社のエネルギー使用量を把握し、その削減に取り組んでいる。	・照明器具をLED化しエネルギー消費を削減している。 ・配送及び営業ルートを見直して効率化を図っている。 ・電力会社の明細を基に把握。	
	2	【法令遵守】 ・法令遵守の考えが社内に浸透し、法令を確実に遵守する体制・仕組みを構築している。	・就業規則にて全従業員へ周知している。 また、法令の変更にあわせて見直しを実施している。		24	【温暖化対策】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでいる。	・事務所及び倉庫の電気を全てLED化し、発熱抑制を行っている。 ・事務所のエアコンの温度設定を行い、無駄な電力を使わないよう管理している。 ・走行時間・距離を減らす事でCO2排出の抑制に取り組んでいる。 CO2排出量2021年度 1,448tCO2 年1% (14tCO2)の削減目標【予定】	
	3	【公正な競争】 ・不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に周知している。	・不正競争行為を含む行動規範について、就業規則にて全従業員へ周知し、企業倫理や社会的責任について全従業員に周知徹底している。		25	【生物多様性】 ・自社活動が環境(生物多様性や生態系等)に悪影響を及ぼさないよう配慮している。	・適なごみの分別によるごみ廃棄量の削減に努めている。 ・本社周辺に植栽を設置し、掃除や剪定等グリーン活動を実施している。	
	4	【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当や専門部署などの体制を整備している。	・全グループ会社の組織図および責任者を開示している。 ・それぞれの部署毎で社会・環境に適した考えや行動を積極的に実践するよう指導している。		26	【効率的な資源利用】 ・ごみを減らし、資源を有効的に繰り返し使うため、発生抑制(リデュース)、再利用(リユース)、再生利用(リサイクル)に取り組んでいる。	・ゴミの分別を意識させる為、表示物を作成し全従業員に意識付けを行っている。 ・ペーパーレス化を全社的に進めている。 ・設備を導入し野菜残渣の堆肥化をおこなっている。	
	5	【知的財産保護】 ・知的財産の保護に取り組んでいる。	・商標等の知的財産権については、弁理士と連携し取得、管理を行っている。		27	【水の管理】 ・熊本の水資源の質と量の保全に取り組んでいる。	・毎月、水の使用量を把握し、水の無駄な利用を防ぐことで、工場における水資源の利用効率改善と使用量の削減に取り組んでいる。	
	6	【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している。	・情報漏洩防止としてセキュリティシステムを構築し、また社員に対しても定期的にチェックを行い、予防をしている。		28	【環境に配慮した製品等】 ・環境に配慮した製品の購入や製品の開発・製造に取り組んでいる(グリーン購入、リサイクル製品認証等)。	・販売商品において、環境にやさしい環境配慮型包材(プラスチック製品から竹や紙等の有機物製品)への積極的な転換を推進している。	
	7	【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダー(※)との対話により、自社の活動がステークホルダーに及ぼす影響を把握し、適切に対応している。(※利害関係者:消費者、投資家等及び社会全体)	・仕入先、顧客との商談において対面でのコミュニケーションを行うことで、お客様のお持ちの問題と一緒に解決して、サービスにつなげられるよう接客方法や情報収集を社内共有し、水平展開することでサービルのレベルの平準化を図っている。		29	【食品ロスの削減】 ・食品ロスの削減に取り組んでいる。	・ひとり親協議会と協力し、箱つぶれなどで正規販売できない商品を提供している。 ・賞味期限管理を徹底して行い、廃棄が出ないようにしている。 ・地域連携による食品開発等のサポートを行い、地域活性化を推進している。 ・八代産トマトの産地から廃棄される規格外トマトを洗浄し冷凍凍結加工用(ブース用)として出荷している。	
労働・人権	12	【差別の禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出自などによる差別や各種ハラスメントを防ぐ体制が整備され、社内で差別や人権侵害がないことを確認している。	・就業規則に各種ハラスメントの規則を盛り込み、相談窓口を設置し差別や人権侵害がないか確認している。	製品・サービス	31	【エネルギー効率の見直し・再生可能エネルギーの利用】 ・高効率機器の導入等によるエネルギー使用率の改善または再生可能エネルギーの利用や供給に取り組んでいる。	・LED化を積極的に行い、エネルギーの削減に努めている。 ・太陽光発電施設により再生可能エネルギーとして供給している	
	13	【労働安全衛生】 ・業務中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる。	・各種安全衛生講習や研修を積極的に受講させ、現場での安全作業の徹底、安全運転の徹底を行っている。		37	【製品・サービスの安全性と品質】 ・製品・サービスの安全性や品質を確保する仕組みを構築している。	・商品管理、発送管理を厳格に行い、システムにて管理している。 ・商品の受注から発送まで一括して自社で管理を徹底している。	
	14	【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している。	・客観的な人事制度を導入しており、公正公平な人事評価、職務内容、配置を行っている。 ・「同一労働同一賃金ガイドライン」に沿った運営をしている。		38	【ユニバーサルデザイン】 ・障がい者、高齢者に特定せず、誰もが利用しやすいサービス提供や環境整備を行っている。	・ユニバーサルデザインを考慮した店舗設計をお客様に提案している。(車いすが通れる間隔の確保、段差の解消やスロープの設置)	
	15	【ワークライフバランス】 ・働き方の見直し等により、過度な長時間労働を防止し、家庭と仕事の両立を図るためのワークライフバランスを推進している。	・法令に基づき、残業時間の管理徹底や、DX推進活用による作業工数削減等業務効率化の指導を行い働き方改革を積極的に取組みを行っている。 ・年間5日の有給休暇取得の徹底と、より多くの有給休暇取得を促し、ワークライフバランスの重要性を認識し推進している。		40	【木質化の取組み】 ・自社の執務室等の天井や床、壁等の内装や外壁等に木材を使用し、木質化を推進している。	・本社1階、2階の壁面の一部に木材を使用している。	
	16	【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している。	・新入社員研修と1年後のフォローアップ研修及び5年目研修をしている。 ・中間管理職研修や幹部候補生研修をしている。 ・外部研修を積極的に活用している。 ・自発的研修について補助制度がある。		持続可能な社会・地方創生	43	【地域への参画】 ・自治活動や福祉活動、防災活動や寄付、ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる。	・プロスポーツ団体と協業して、子供向けの食育教室の開催を定期的実施している。 ・地域活動への寄付を実施している。
	17	【健康経営】 ・従業員が心身ともに健康を維持できるよう対策を講じ、生産性の向上に取り組んでいる。	・健康診断、インフルエンザ予防接種の経費補助を行なっている。 ・年に一回の健康診断も社員全員必ず行い、健康維持に取り組んでいる。			44	【防災、減災、レジリエンス(自助)】 ・過去の地震や水害などの災害を教訓に、事業への被害を防止・軽減するため、ハザードマップを確認し、避難行動計画や事前防災対策を進めている。	・社内において、防災備蓄や防災グッズを常備している。 ・予防管理組織編成および自衛消防組織編成を取り決め、事前防災対策を進めている。
	18	【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材(女性、外国人、障がい者、高齢者等)が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる。	・女性の活躍できる環境を認識し、適材適所に配置している。また、外国人の雇用も進めており、今後も積極的に雇用していきたいと多様性を期している。 ・育児休暇により、出産後も働き続けることができる環境整備をしている。			45	【防災、減災、レジリエンス(共助)】 ・地域防災の担い手としての認識を持ち、防災士、水防団員、救助救急等の必要な技能を持つ社員を育成したり、地域消防団の活動に参加している。	・益城町と「災害時における物資供給に関する協定」を締結している。
	19	【新しい生活様式への対応】 ・新型コロナウイルスをはじめとする感染症対策としても有効なテレワークや時差出勤、ウェブ会議等を導入している。	・新型コロナウイルス感染予防の一環として、社内会議はリモート会議を推進している。 ・検温、清掃除菌、換気、アクリル板設置等の対策を徹底している。			48	【インターンシップ等の受入れ】 ・職場体験、インターンシップの受入れ、職場関連授業の実施など、地域の児童や学生に対し、職業の学びの場を提供している。	・地元の高校や大学・専門学校等、積極的にインターンシップの受入れを行っている。地域の学校からの職場体験も積極的に受け入れている。また必要に応じ出向き、幅広く我々業界の啓蒙を行っている。
	20	【デジタルトランスフォーメーション(DX)の推進】 ・ICTやAIを活用したデジタル化やオンライン化等のDXの推進により業務の効率化やビジネスモデルの変革に取り組んでいる。	・イントラネットのクラウド化、財務・人事等のバックオフィス業務のDX化、営業および営業事務のDX化を積極的に推進し、業務効率化を図っている。		49	【若者の地元定着等】 ・若者の県内就職を促進する取組みを行っている。	・地元出身の学生やUターン、Uターン希望者を積極的に雇用している。	
	環境	22	【環境汚染予防】 ・廃棄物や有害化学物質の適切な管理、及び処理に取り組んでいる。		・食品廃棄物およびプラスチックごみの適切な分別・処理に取り組んでいる。 ・賞味期限切れとなる食品の削減に取り組んでいる。 ・工場で発生する食品残渣を堆肥化する装置を設置しリサイクルを促進している。			

